

令和6年度 第2回学校関係者評価委員会の実施及び改善策について(報告)

【実施日】令和6年1月23日(火) 9:45～11:00 【参加した評価委員数】6人

屋久島町立中央中学校

評価(委員記述) A(良い:課題なし) B(おおむね良い:課題有り) C(改善の必要有り:課題有り)

項目	番号	評価の観点	資料及び取組状況	評価 (1人未記入)	改善策
学校 評価 の 方 法	1	自己評価は学校教育目標を重点化した設定となっているか。	自己評価書資料	A 4人, B 2人	今回の評価結果についてもホームページで公表し、職員会議で改善の対策を検討する。 保護者アンケートの回収率を上げるため、安心メールで依頼するなどの対応を行う。 学校関係者評価の在り方について見直しを図り、実施する。
	2	自己評価は全校体制で定期的実施されているか。	各学期1回実施	A 4人, B 2人	
	3	自己評価の結果を踏まえた適切な改善が図られているか。	自己評価書資料 各学期学校経営案	A 4人, B 2人	
	4	自己評価項目の内容・量は適切か。	自己評価諸資料	A 4人, B 2人	
	5	生徒・保護者へのアンケートは適切か。	生徒・保護者・教職員 アンケート	A 3人, B 3人	
	6	学校関係者評価の在り方は適切か。	年間2回	A 4人, B 2人	
	7	評価結果をわかりやすくかつ広く公表しているか。	HP, 学校便りで公表	A 4人, B 2人	
自由記述		<ul style="list-style-type: none"> ・学校・家庭・地域それぞれの役割を日頃から確認しながら、より良いバランスを保ちたいものです。 ・子ども達が積極的に授業を受けている姿を見ることができました。 ・各クラス毎の掲示物がしっかりなされ、そのクラスのカラーが出ていてよかった。 ・家庭学習については、小学校も課題を共有しながら取り組みたい。 ・グループでの話し合い方式はよい。(自由に意見を言える) ・英語(会話)は必須となるため、より良い充実を期待する。 			

意見交換内容

評価委員からの意見等	学校からの回答
○ 授業においてタブレットが日常的に活用されていた。コロナ禍ではあるが、対話的学習もなされていた。定着のさせ方が課題である。小学校の頃から比較して、中学校で伸びていることが感じ取れた。	○ 必要に応じて各教科でのタブレット活用を図っている。換気等の感染症対策を行いながら対話的な学習も行っている。
○ 家庭学習の充実は、どの校種でも課題である。健康面や心の問題も家庭と連携して取り組んでいく必要がある。家庭を安心できる場所にしていけるようにしたい。地域の協力も得て、屋久島が大好きな自信をもたせる指導をしていきたい。	○ タブレット等の持ち帰り学習も始めており、個別最適化された学習の実施に向けて取り組んでいる。生徒の良さを全職員で認め、賞賛しながら自信を持たせる指導に努めていきたい。
○ 授業においてマスクをしているのに先生の声がよく通り、子ども達も集中していた。グループ内で意見交換できることはよい。屋久島高校への進学率を知りたい。	○ 屋久島高校への進学率は、約7割である。生徒個々に対応した進路指導に努めている。
○ 参観時、空席があったが生徒数より多くの座席があるのか。	○ 座席は生徒数分のみである。本日、3年生は私立高校入試のための空席がある。それ以外は、欠席者で、不登校の生徒の空席もある。
○ 学校評価アンケートの提出率が低くなっているが、安心メール等で連絡して提出率を上げる工夫をした方がよいのではないのか。	○ 意見にあるように、提出率の向上に向けて締切近くに安心メールを送信したりする等の対策を行いたい。
○ 携帯の所持率が出されているが、授業でも使用したりしているのか。	○ 校内では携帯電話の持ち込みは原則許可していない。校内では町から配布されたタブレットを使用している。